

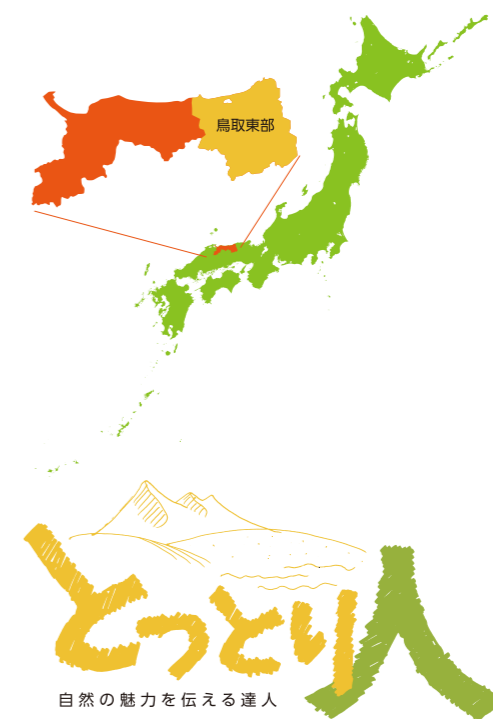
# とっとり人

自然の魅力を伝える達人



海に、山に  
大自然に心も身体もあずけよう。

# TOTTORI-JIN



発行: ととりの元気づくりプロジェクト 東部チーム  
(事務局/ 特定非営利活動法人 地域スポーツ推進協会)  
お問合せ: (公財) とっとり県民活動活性化センター  
TEL 0858-24-6460  
東部担当 080-2928-1055

平成29年3月発行  
※本誌掲載の情報は平成29年3月までに取材したものです。  
※無断転載、コピーはご遠慮ください。

本プロジェクトは日本財団の「鳥取助成プログラム」を活用しています。

## TOTTORI-JIN INDEX



自然を生かした水辺遊びの達人

**長谷川浩司** . . . . . p.03  
KOJI HASEGAWA



ポニーと共に大自然のプレイヤー

**大堀貴士** . . . . . p.05  
TAKASHI OBORI



浦富の波を知り尽くした海男

**山下明男** . . . . . p.07  
AKIO YAMASHITA



浦富海岸に魅せられた水中写真家

**中谷英明** . . . . . p.09  
HIDEAKI NAKATANI



空から砂丘を散歩するパイロット

**片岡義夫** . . . . . p.11  
YOSHIO KATAOKA



子どもたちのヒーロー 氷ノ山の心優しい山男

**森岡則明** . . . . . p.13  
NORIAKI MORIOKA



自然豊かな森に子どもたちの声を響かす開拓者

**西村早栄子** . . . . . p.15  
SAEKO NISHIMURA

「とっとり人」番外編

**座談会** . . . . . p.17  
ZADANKAI



自然の魅力を伝える達人

日本最大級の鳥取砂丘や透明度の高い浦富海岸を中心とした山陰海岸ジオパーク、氷ノ山を始めとする中国山地の山々など「豊かな自然」に囲まれた鳥取県東部はパラグライダーやシーカヤック、スキーなどのスポーツやレジャー体験だけでなく森のようちえんや田舎暮らし体験など自然を活用した取り組みを提供している人がたくさんいます。

この情報誌では、鳥取県東部の豊かな自然に寄り添いその魅力を最大限に発信する人たち「とっとり人」を紹介します。

とても魅力的な人たちです。一度会いに来て下さい。  
『とっとりで待っています!』

**【とっとりの元気づくり東部プロジェクト】**  
鳥取県東部の強みである「豊かな自然」を活かしてNPOや地域づくり団体などが主体となって日本財団と鳥取県の共同プロジェクト「鳥取助成プログラム」を活用し「県東部の自然の魅力を活かした自然体験の普及促進」をテーマにした活動です。

**【東部チーム】**  
幹事長：間屋口貴仁(特定非営利活動法人 地域スポーツ推進協会)  
副幹事長：長谷川浩司(鳥取県自然体験塾)  
幹事：大堀貴士(特定非営利活動法人 ハーモニカレッジ)  
幹事：岸本雄司(すなばスポーツ)  
幹事：徳本敦子(鳥取 森のようちえん 風りんりん)  
幹事：浜崎大輔(鳥取しゃんしゃん祭振興会)

# 自然を生かした水辺遊びの達人



カヌーから始まった自然体験は今では、海も山も川もまるごと楽しめる体験塾へ。ここなら、こんなこと出来るんじゃないかな... 日々、鳥取の自然の中で思いめぐらせている。

鳥取県自然体験塾 代表

## 長谷川浩司

KOJI HASEGAWA



美しい浦富海岸

友人のひとこと

もともと鳥取カヌークラブを平成2年にスタートして、この体験塾となつてからはもう10年くらい経ちます。16年くらい前に浦富の海をカヌーに乗って案内した時に、「この海を案内するんだったら、いくらでもお客さん呼んできますよ、長谷川さんやんない！」と言われて、やってみようかなと思つたんです。

浦富海岸というのは、世界的に



鳥取県自然体験塾  
鳥取県鳥取市用瀬町屋住294  
TEL090-9465-6040  
<http://uskayak.jp>

シーカヤック・クリアカヌー・シャワークライミング・ラフティング・マーメイド体験・川遊び・リバーカヤックなど海や川などの水辺の自然を生かした体験塾



いつも信頼できるスタッフが自然体験をサポートします。



天然のシャワーで豪快な水遊び！子どもたちははやく声の中にも響きます。



整備されていない自然の中で、安全に楽しめるよう常に目を配っています。

舟底が透明なクリアカヌーなら風景だけではなく海の中まで楽しめます。



森を通じて心と身体を癒す森林セラピー。



溪谷の自然を体感できるラフティング。

見ても面白いポイントで、またその当時は鳥取で自然体験をしようと言つても、キャンプくらいしかイメージがなく、他の自然体験をしようと思つても道具が必要だったりするので、そこを整えて地元の人からもっと馴染んでもらうことが必要なのではと考えました。

### 「Beautiful!」 「Fun!」の声

体験内容にもよりますが、シャワークライミングでは鳥取西部や兵庫県、関西エリアの方の体験が多いです。浦富海岸で体験できるシーカヤックやクリアカヌーだと香港や中国など海外の方も多く体験されています。シャワークライミングなどは一般的にもまだ定着していないので、初めて体験する方がほとんどですが、「とっても楽しい！またやりたい！」「水がきれい！」と皆さんに喜んでもらえます。また、「道具を身につけて体験するので安全で安心して楽しめる」と言われます。

### 水辺だけでなく 森林にも

智頭で森林セラピーをしていたこともあり、月に何回か兵庫県の宍粟市で森林セラピーのアドバイザーとしての活動もしています。今年からは、地元用瀬の森で「癒し歩き」を始めようと思っています。完全なオフの日は農業もしていますよ。常に自然の中にいます。

### 豊かな自然を守り そして、伝える

この鳥取東部エリアは海外の方も含めて、もっと人が来てほしいのではと思える場所ですね。浦富のカヌーは現在1シーズン5千人弱です。現在これに対応しているのが2事業者。今後は1万人くらいまで目指したいと思う中で、もっとその受け皿が必要になるのは当然。自身がその先例として後輩たちに道を作っていければと思っています。

今の浦富海岸も百年経てば、おそらくこの地形ではなくなつてい

### 鳥取のサイズ感が ちょうどいい

鳥取は人が生活するのにちょうどいいサイズなんではないかと。都市部のような過密感はなく、もちろん過疎感もあります。人が集まることだけが、地域の活性化につながるというわけではなく、人が多ければ起きる問題もあるの、このサイズ感での生活は自分に合っているのかなと。

そんな生活だから、鳥取は子どもやおじいちゃんやおばあちゃんも、元気でいられるのではないかと思います。

# 大堀 貴士

TAKASHI OBORI



特定非営利活動法人 ハーモニカレッジ

鳥取県鳥取市越路大谷752-1  
TEL0858-72-2468  
<http://www.harmony-college.or.jp/>

鳥取の街を一望する、空山ポニー牧場「ハーモニカレッジ」。キャンプや乗馬、ポニーの世話を通じて、世代を超えた仲間と心ゆくまで遊びながら、子どもたちがたくましく自信、思いやりを身につけられる機会を提供し、応援しています。

## ハーモニカレッジ創立者 石井博史氏との出会いから

地元大阪で大学生時代、キャンプやアクティビティのボランティアをやっている頃、友人の紹介でハーモニカレッジの原点となる八東ポニー牧場の創立者、石井博史氏に会いに鳥取まで行きました。その時、鳥取の子どもたちと一緒に1泊のキャンプをしたんです。子どもたちから馬のことを教えて、僕たちが子どもたちにキャンプファイヤーを教えるという、お

互いに次々と与え合うライブ感覚のキャンプが本当に楽しくて。大学卒業してすぐここに来ました。それから20年経ちます。

## 馬・自然体験・遊び 出張ポニー

体験として3つのカテゴリーを用意しています。一つ目は馬のプログラム。二つ目は自然体験としてカヌー、SUPボード、ツリーイング、シャワークライミング、スキー、スノーボードなど、自分たちスタッフが指導者となって、シーズンに応じた体験を行っています。そして、三つ目が遊びです。遊びは子どもたちが自然発生的に遊ぶこと、例えば、ターザンごっこをしたり、秘密基地を作ったり、子どもたちが自由な発想で遊ぶことを遊びと呼んでいます。この3つを組み合わせ、体験を通して学ぶという、社会教育を行っています。



約20年前のハーモニカレッジ寄宿塾。

遊びのフィールドは無量大。夏は海、冬は山へ。

# ポニーと共に 大自然のプレイヤー

馬がそばにいただけで 自然と子どもたちの心が耕されている。 しつかり耕された心には 何が芽生えてくるのだろうか。 子どもたちの無限の可能性が楽しみでたまらない。



特に活動の中で主になるのは馬との生活なんです。馬や自然のリズムに合わせて生きることを体験して、命を大切にすることが感謝の心を学びます。

また、出張でポニーの乗馬体験などを行っているので、いろんな保育園や幼稚園でポニーを通じて交流しています。

20年やっていると、その当時参加していた子どもたちが、大きくなって今はこのボランティアとして支えてくれています。

## ライフワークは 自然体験活動

波があればサーフィン、年中できるのはクライミング、冬はスキーやスノーボード。プライベートでも基本外で過ごすことが多いですね。

また、大阪のボランティア時代の友人が鳥取に子どもを連れて来てくれて、今でも一緒に遊んでいます。

昨年はその大阪の友人たちが予算を工面してくれて、僕の生まれ育った街のお祭りに仕事として呼んでもらいました。初めて馬を連れて故郷に凱旋しました。

## 障がい者と馬とのかわり

スタッフでブレインストーミングして意見を出し合ったりしているのですが、その中で実現に動きだしそうなものが、障がい者と馬のかかわりです。

このハーモニカレッジで障がいのある子どもたちが健常の方とふれあう社会参加の場になって、さらに成長過程の中で、放課後等デイサービスや就労支援のようなことができれば、福祉事業として社会貢献できるのではないかと考えています。

## 鳥取の元気の源になれるように

子どもたちとの関係性がしっかりと築けた上で、お互いの感情が重なった時は、とっても嬉しいし、楽しいです！できなかったことができた時の嬉しそうな表情、夢中で楽しんでる表情を見ていると、僕たちスタッフも同じ表情になります。

同じように、鳥取では様々な分野で僕たちみたいな思いを持って取り組んでいる人がたくさんいます。その方たちとのつながりは、刺激になることや、協力し合えることも多くあります。そういう人たちと一緒に鳥取の元気の源になれるよう盛り上げていきたいと思っています。



故郷大阪に馬を連れて凱旋。

ポニーの世話や掃除も子どもたちの大切な役目です。

スタッフと多くのボランティアで運営しています。